

平成26年度

建設部 組織目標設定シート

組織の方針	今年度の目標設定		
A 組織の方針(使命) 組織の基本方針又は使命	B 重点目標項目 組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に	C 設定理由・考え方 どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか (できるだけ定量的に記入)	D 活動(手段) 重点目標項目を実現するため行う活動や手段
都市としての持続的な成長を支え、市民が安全で安心して生活を営むことのできるまちづくりを目指す。そのためには、市民のニーズ、社会の動向を的確につかみ、建設部門の果たすべき役割を適切に執行管理する。	1. 災害関連対策	・ 災害を未然に防止するとともに、有事の際の被害拡大を防ぐための施策の充実を図る。	・ 橋梁長寿命化修繕事業 ・ 木造住宅耐震化促進事業 ・ 排水困難地対策の実施
	2. 地域に根ざした安全・安心事業の推進	・ 地元要望や通学路確保のための整備を推進し、安全対策の充実を図る。	・ 公共施設の整備改善及び維持修繕(学校、福祉施設等) ・ 市営住宅耐震化事業 ・ 通学路安全対策事業(カラー塗装) ・ 公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の更新
	3. 国・府等の事業支援と関連する事業の推進	・ 国・府等が進める広域的な社会資本整備事業に支援協力し持続可能なまちづくりを推進する。	・ 新名神高速道路及び関連事業 ・ 山手幹線南進事業支援 ・ 府道拡幅・交差点改良事業支援(八幡木津線、三山木普賢寺線) ・ 府河川改修事業支援(防賀川・松井地区、興戸地区) ・ 大住工専拡大事業の支援
	4. 都市基盤整備の促進	・ 効率的かつ適切な予算執行に努め、誰もが便利で快適に暮らせる良好な都市環境を形成するため、都市基盤整備を進める。	・ 三山木地区特定土地区画整理事業の推進 ・ 防賀川公園(東側)整備事業 ・ 三山木2号公園整備事業
	5. 新規事業の拡充促進	・ 市民の多様化するニーズや将来の高齢化に対応した事業を促進し、生活環境の向上を図る。	・ 水辺の散策路環境整備事業 ・ バス交通活性化プロジェクト事業 ・ 松井山手～大住地域遊歩道検討事業 ・ バリアフリー生活関連経路整備事業
	6. 組織コミュニケーション活性化及び職員のスキル向上	・ 組織の停滞を防止し、適切な業務遂行と社会ニーズに的確に対応する職員を育成する。	・ 研修やフォーラム等への積極的参加